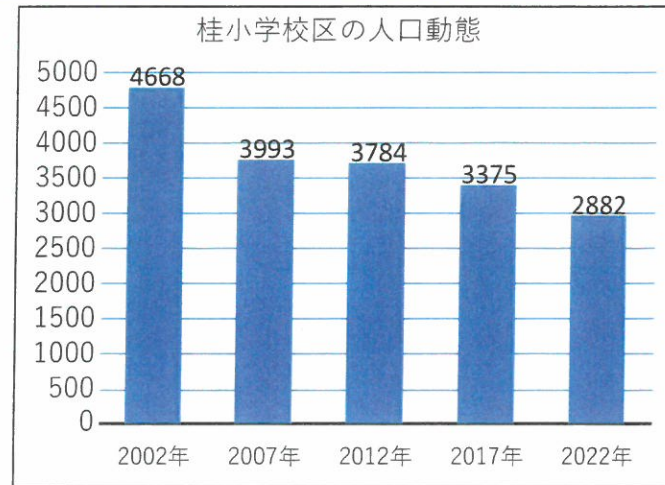


## データから見る桂小学校区

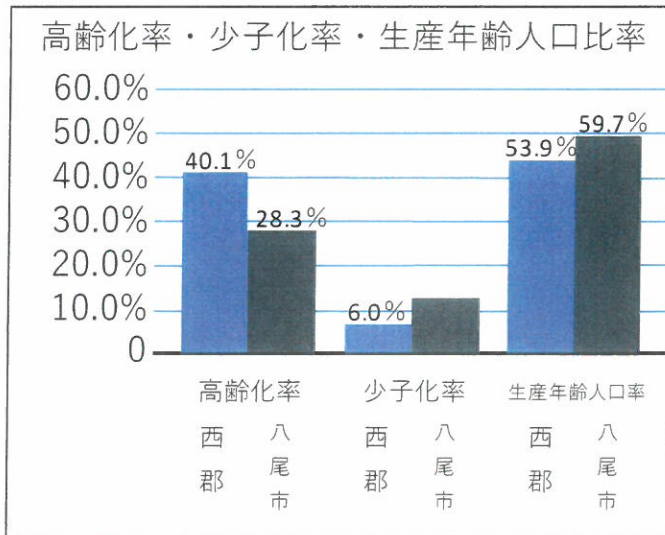
### ■桂小学校の人口動態

桂小学校区はこの20年間に1786人も人口が減少。20年前と比べて、約62%の人口になった。八尾市全体の人口減少は約95%であることから、急激な人口減少が進んでいると言える。



### ■高齢化率・少子化率・生産年齢人口比率

高齢化率(65歳以上)、少子化率(0歳~17歳)、生産年齢人口比率(18歳~64歳)を八尾市全体と比較すると、高齢化率においては、八尾市全体においては、11.8%も高い。少子化率においては、八尾市全体よりも6%低く、生産年齢人口比率においても、5.9%低くなっています。



高齢化が急激に進み、少子化が進んでいます。また、それらの人々を支える生産年齢人口は人口減少とともに減少しています。

### ■一歩ずつ前に進めるまちづくりを目指して

西郡地区(桂小学校区)においては、人口減少、少子高齢化、高い生活保護率、貧困、格差、部落差別など、多くの課題を抱えた地域です。西郡水平社が創立し、100年が経過しましたが、常にその課題と向き合い、まちづくりを進めてきた地域でもあります。

わがまち推進計画を策定するにあたり、3回のWSを開催(2023年7/18, 8/8, 8/22)し、これまでの取り組みの検証、防災についてなど、意見交換しながら、わがまち推進計画を策定しました。

これらの課題と向き合い、安心・安全なまちづくりを目指して、地域のみなさまとともに、新たな西郡のまちづくりをすすめていきましょう。

## 西郡のまちづくり

### 桂小学校区 わがまち推進計画 (2023~2028年度)

発効日：2023年8月

編集発行：西郡まちづくり協議会

大阪府八尾市桂町2丁目27番地

桂人権コミュニティセンター内

# 西郡のまちづくり

## 桂小学校区 わがまち推進計画

(2023~2028年度)



2023年8月

西郡まちづくり協議会

# 桂小学校区わがまち推進計画 2023~2028 まちづくりビジョンMAP

前ビジョンから8年が経過しましたが、地域住民の単身高齢化と子どもや若者の減少に歯止めがきかない深刻な状態です。防災コミュニティづくりの面からも喫緊に対応が必要で、かつ将来の地域の担い手である子育てや若者世帯対策が待たなしの事態です。そこで本ビジョンでは、コロナ過による社会変革を受けとめつつ、地域資源が多いというまちの特性を活かし、現住民と新世代・世帯へのメッセージを意識しました。訪れる人や関わる人をもっと増やし、具体的なチャレンジを実行するまちづくりを目指します。



ビジョンの詳細は、<http://bit.ly/3L2t5rZ> (上記QRコード) からダウンロードできます。

- 目標1 人権が尊重され、多様さを受け止める「おたがいさま」のまちづくり
- 目標2 安全で安心して暮らし、元気に孤立せずに住みつけられることのできるまちづくり
- 目標3 子育て・若者世帯が訪れたい・暮らしたいと感じる次世代を育むまちづくり
- 目標4 コロナ禍後の新たな社会を意識し、いろんな「居場所」で“実感”をとまなうまちづくり
- 目標5 先行する社会課題解決に向けた実践を通して、ほかの地域にひろげられるまちづくり

**テーマ1 住宅確保要配慮者の集住に対応した安心見守りコミュニティづくりの推進 (防災まちづくりの視点から)**

市営住宅に単身高齢者などの要配慮者が集住しており、災害時の避難や支援に深刻な課題があります。実際に災害をシミュレーションして現状共有し、対応可能な体制で「安心見守りコミュニティ」がある防災まちづくりを推進します。

**テーマ2 子どもの可能性を広げる機会や出会いを作り、子育て・若者世帯が訪れたい暮らしたいと感じるまちづくりの推進 (次世代担い手の取組み)**

子どもや子育て、若者世帯の流出がとまりません。しかしまちには多様な地域資源(施設)があります。これらを活用し、まずは訪れやすいまち、交流や関係をつむぐ地域環境を整えます。そして桂小中学校と大学や企業との連携を図り、スポーツをはじめ新しい学びの機会や可能性がひろがるような、特長的で魅力のあるテーマを発信し、次世代の担い手づくりを意識したまちづくりを展開します。

**テーマ3 行き来しやすいまちづくりの推進 (多様な移動・交流手段の確立)**

買物や移動不便地域の環境は変わっていませんが、今後は地域が運営している「あいらぶ自動車」をベースに行政による事業を効果的に連携させます。またSNSやDXを活用したあらたな交流システムも検討します。

**テーマ4 地域・行政・大学・企業との連携強化 (テーマを具体化するプラットフォームの設置)**

本ビジョンを実現するために、地域と行政大学や企業との協働が不可欠なため活動や事業の連携・協議の場づくりを検討します。とくに地域の諸施設を効果的に連携させる拠点として世界発信可能な(仮称)人権センター機能(施設)の設置を提案します。



新家町		R.4			
世帯・人口	児童数	生徒数	14歳以下	65歳以上	高齢化率
合計	75	127	192	1185	40.2
市営住宅	管理戸数	空部屋	単身世帯	空き家率	単身率
合計	1205	358	484	29.7	57.1

→ 現在28小学校区ですべての数値が最下位

→ 5年後最下位脱却 滞在数や交流人口の増加を目指す

八尾市営住宅機能更新事業計画 八尾市営住宅長寿命化計画 R3.3		1グループ	2グループ	3グループ
集約建替候補 (次期以降の対象棟[着手までは維持管理]とする→下線付) ※第1グループの6、12、S3号館については住戸の住替移転を実施していることから、住替完了後、用途廃止とする		6、12、S3号館 [1~5号館(集約建替済)] [7、8、13、S1、S2号館 (用途廃止済)]	14~16号館 17、18号館	19~23、28号館
長期活用とらわ		耐震改修+住戸改善②+長寿命化型改善 エレベーター設置 住戸改善① 住戸改善② 住戸改善②+長寿命化型改善 長寿命化型改善 維持管理	34号館、35号館 29号館 24~27号館 30~33号館 36~42号館 S7、S8、S9号館 9、10、11、43号館、S4~S6号館 第2・3・4集会所、駐車場、児童遊園	
本計画期間中の取り組みの考え方		建替・集約候補 耐震改修 住戸改善①② エレベーター設置 長寿命化型改善	集約建替済 期間中に事業着手 空家改修の際に実施 他の方策も含め検討を行う 原則として建築後の経過年の長いものから順に実施	期間中に事業着手 当面は維持管理

- 保育・教育施設
- 病院・福祉介護施設
- その他施設
- 公園・広場
- 建替対象団地
- 青の数字は公営住宅棟番号 (赤は避難者受入想定数)
- ..... 集約的活用検討エリア
- 広域避難場所
- ➡ 指定緊急避難場所(一時避難場所)
- 🏠 指定避難所
- 🏠 第2避難所
- 🏠 福祉避難所

0 50m